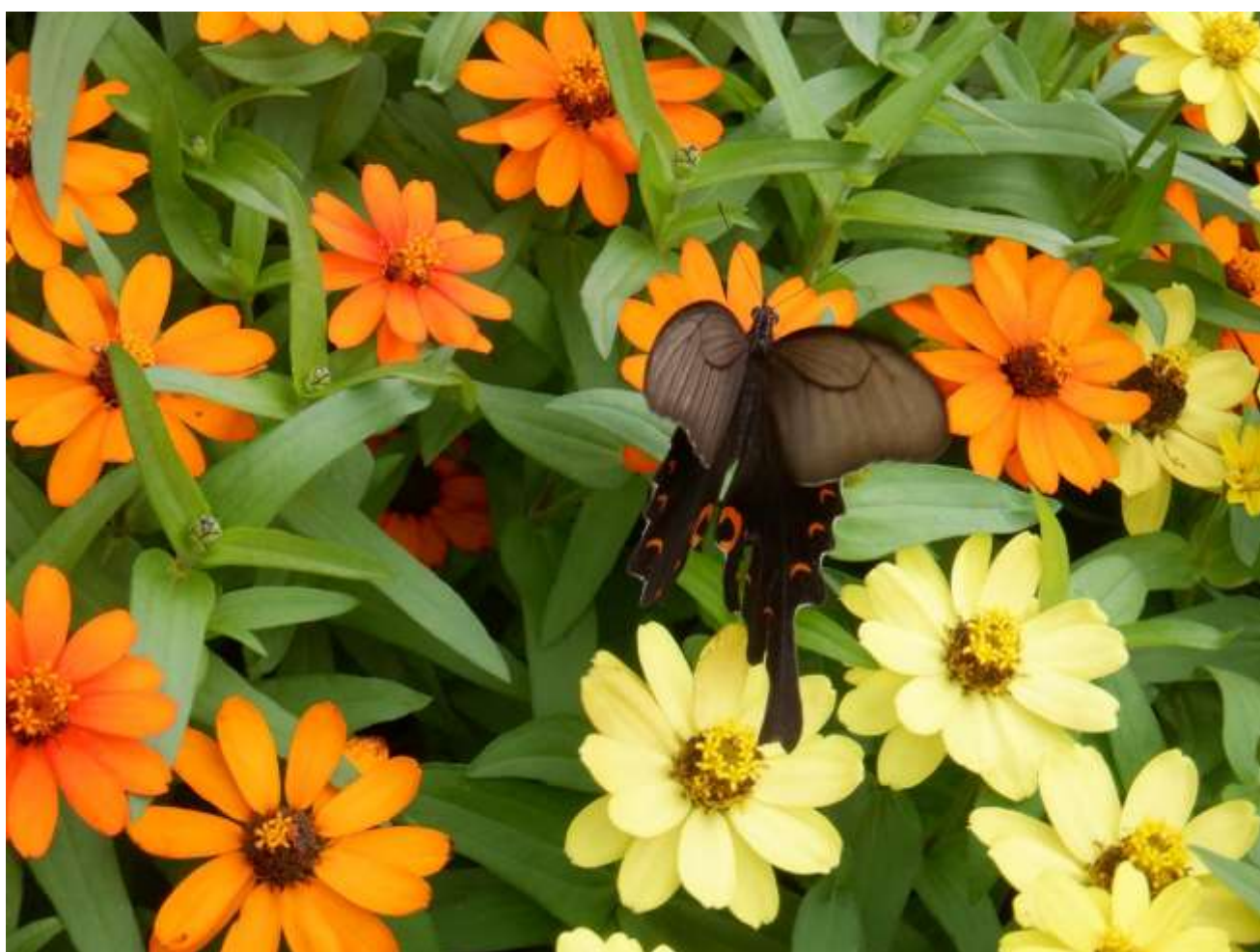




かわら版



○ 鼓動 「地域農業の担い手として出来ること」	1
JA石川県青壮年部協議会 委員長 高本 祐輔	
○ 令和5年度少年の主張石川県大会	4
○ 第50回太陽と緑に親しむ健民祭	9
○ 11月・12月の健民運動カレンダー	19
○ 薫風 石川県産木材利用拡大の取組	20
石川県森林組合連合会	
○ 「あいむ」だより	21

鼓動

JA 石川県青壮年部協議会

委員長 高本 祐輔

「 地域農業の担い手として出来ること 」

JA石川県青壮年部協議会（県青協）は、県内10のJA青壮年部で構成され、地域農業の担い手として、JAをよりどころに共同の力で、地域農業の振興及び豊かな地域社会を築くことを目的に活動しています。

主な活動としては、食農教育活動（「食」がもつ多様な役割の大切さを伝える「食育」に「食」を支える根本である農業に関する知識・体験も含んだ活動）や耕作放棄地保全活動（石川絆再耕プロジェクト）があり、県内各地のJA青壮年部が様々な活動に取り組んでいます。

私が所属するJA白山青壮年部では、こども園や小学校を対象に野菜の栽培体験や米作り体験といった食農教育や、地域の消費者を対象にした「バケツ稲づくりコンテスト」を開催し、参加者がバケツ稲づくりを通じて、米作りの苦労や収穫の喜びを感じてもらおう食農教育をしています。

さらに特別栽培米の白山コシヒカリ「比咩の米」のPRと、霊峰白山からの恵みへの感謝を祈念して、白山開山1300年の2017年から白山奉納登山を行っており、「比咩の米」100kgを標高2,500mの白山室堂まで分担して担ぎ上げ、白山比咩神社奥宮に奉納しました。奉納後の「比咩の米」は白山室堂の食事に提供されています。

2019年には「令和」改元記念に、おにぎりを山頂の御前峰にて振舞いました。

その他にも、耕作放棄地景観保全活動として、耕作放棄地をヒマワリ畑等に再生する「石川絆再耕プロジェクト」を行っており、景観保全にも取り組んでいます。

最後に、10月は『国消国産』月間です。（10月16日は「国消国産の日」）

今、日本の「食」は様々なリスクに直面しています。

まず、食料自給率は38%と、約6割が輸入に頼っています。日本の食料が世界情勢に左右されないためにも、食料の輸入依存度を減らす必要があります。農業生産力に関しては生産者の高齢化に伴い、生産者と農地の減少が進んでいます。農地の減少は、雨水を蓄える治水機能の低下にも繋がり、防災面にも影響があります。

更に生産資材が高騰している一方、農畜産物の価格は変わらず、農家の経営は厳しい状況にあります。

JAグループでは、地元の農畜産物は地元で消費する「地産地消」のほかに、国民が消費する食料は、できるだけ国内で生産する「国消国産」の取り組みを推進しています。

日本の食と農を守るため、農家と消費者が力を合わせ、「国消国産」を実践しましょう！



こども園食農教育活動
(種蒔き)



こども園食農教育活動
(稲刈り)



バケツ稲づくりコンテスト (写真左は準備)



(山頂↑)

白山奉納登山

(おにぎり→)



石川絆再耕プロジェクト
(種蒔き)

石川絆再耕プロジェクト
(開花)



◇ 令和5年度少年の主張石川県大会

8月27日（日）に石川県青少年総合研修センターで「少年の主張石川県大会」が開催されました。

この大会は、昭和54年の「国際児童年」を契機に開催してから今年で45回目となります。

日常生活の中での体験や考えを自分自身の言葉でまとめ、それを広く発表する機会を中学生に提供して、中学生世代における社会参加意識の醸成を図り、また、多くの大人に現代の中学生への理解を深めてもらう大会となっています。

加賀・能登・金沢および石川中央の4地区大会72名の参加者から選ばれた16名のみなさんが、自分の考えを力強く堂々と訴えかけました。審査の結果、最優秀賞には、金沢市立長田中学校3年、松末 明生さんの「「考えない葦」は、ただの葦」、優秀賞には、石川県立金沢錦丘中学校3年、東 真菜葉さんの「誇りある自分になるために」と白山市立北星中学校3年、平村 晴佳さんの「星のような言葉の中から」が選ばれました。次頁に最優秀賞に選ばれた松末 明生さんの原稿を紹介させていただきます。



【正木 明 大会委員長】



【出場者と審査委員、大会役員の皆さん】

最優秀賞

「考えない葦」は、ただの葦」
金沢市立長田中学校3年
松末 明生 さん



「松末、今度お前の読書感想文を金沢市のコンクールに推薦するから。」

中学一年生の夏、自分では全く予期していなかった言葉を担任の先生にかけてもらってから、僕は初めて「文章を書く」ということを意識するようになりました。そして、結果的にその読書感想文がコンクールで入選して以降、その嬉しさもあり、自分の中で文章を書くことに、俄然興味と情熱が湧いてきたのです。それからというもの、誰かに依頼されたわけでもない文章を時々僕は書いています。

書くきっかけやテーマは様々です。その時に読んでいる小説や漫画、テレビで観た映画やアニメなど、自分がその時に触れた作品について自分なりに考えて書く行為は、真剣に向き合えば向き合うほど難しく、いつも難航してしまいます。ですが、それを乗り越え、短くとも一つの文章を書き上げることができたときは、何とも言えない達成感を味わうことができ、それが次への意欲へとつながっています。そして、何度も文章を書いていくうちに、僕は文章を書くことが自分自身の思考力を高めてくれていると実感しました。

僕たちは、特に意識していなくても普段からいろいろなことを考えています。しかし、それは漠然としていてあまり具体的ではありません。それをより具体化するために有効な手段が、「文章を書く」ことだと思います。なぜなら、自分で書くという行為は、書こうとする内容について自分自身の引き出しをすべて開放し、深く考え、整理できなければ成立しないからです。その結果、目に見える文章という形に変えることで、客観的に自分の考えを理解することができます。こうしたプロセスの繰り返しが、思考力を高めることにつながるのではないのでしょうか。

ところで、最近、テレビのニュースで気になったことがありました。大学生の卒業論文の制作について、AIの使用を禁止する大学が出てきているというものです。僕は実際にAIについて触れたことがなく、仕組みについても詳しいわけではありませんが、最近のAIの進歩は目覚ましく、簡単な単語をいくつか入力するだけですぐに論文を製作してくれるそうです。つまり、AIを利用する側の人間は、書くことについて何も考える必要がないのです。

人工知能と呼ばれるAIは、人間と同等、もしくはそれ以上の精度でさまざまな作業の実行が可能です。そのため、あらゆる分野で有用な技術であり、生活や産業の仕組みを根本から変える可能性を秘めています。ですから、AIにより僕たちの生活が一層便利になっていくことは、疑いようがありません。しかし、その便利さを追求するあまり、AIへの依存度が強まってしまう危険性もあります。その結果、僕たちは自分自身で考える機会を失ってしまうのではないのでしょうか。

この状況は、作家「星新一さん」が描いた『声の網』という作品と似ています。この『声の網』では、コンピューターが搭載された電話に、気づかない間に人間の思考や行動が支配されてしまう世界が描かれています。この作品が描かれた1970年代当時はSF作品として描かれていましたが、2023年現在、この作品は現実味を帯びています。もしかすると、今後本当に『声の網』のような、人間の思考機能がAIに代替され、人間が思考や行動を放棄する未来が到来するのかもしれませんが。

しかし、待ってください。文章を書くことは自分と向き合い、思いを巡らせ、自分の思考の幅を広げてくれます。こんなにも面白いことをAIに任せてしまうことは、勿体なくはないでしょうか。僕たちが普段楽しんでいる映画や聴いている音楽、好きな小説や絵画など、生活を豊かにしてくれるものは、遠い過去から多くの人々が無限に想像し、挑戦し、考え抜いてきたからこそ産まれてきたものです。何も無いところから何かを産み出す力こそ、他の生き物にはない人間だけの力であり象徴であると僕は信じています。AIを使うことでその力が弱まってしまうことはとても残念ですし、AIによって便利な未来になることが、必ずしも幸せを運んでくれるとは限らないと僕は思うのです。だからこそ、これからも僕は筆を執ることをやめず、あらゆることに知的好奇心を持ち、一人の「考える葦」として自分の頭で考え続けていきたいと思っています。

さて、みなさんはどうですか。「考える葦」か「ただの葦」か。どちらになることを選択しますか。



【成績発表】



【講評】



【表彰】

発表終了後、吉田克也審査委員長（石川縣市町教育委員会連合会副会長）から、審査結果が発表され、正木明大会委員長から最優秀賞、優秀賞、奨励賞の賞状と副賞が授与されました。引き続き、東原修身審査委員（石川県教育委員会学校指導課課参事）から講評をいただき、最後に針木江津子大会副委員長（健民運動推進本部事務局長）の挨拶で閉会しました。



講評（要旨） 石川県教育委員会学校指導課担当課長 東原 修身

本日、少年の主張石川県大会において、素晴らしい主張をしてくれた十六名の皆さん、どの発表者も中学生らしく、さわやかな語りの中に、自分の思いを込め、その思いを豊かに表現していました。

環境問題や人権問題、自分の個性や生き方など、様々な問題に、一人一人が自分自身の経験を通して向き合い、問題の解決に向けてどのように行動するのかを堂々と発表する姿に大変感心いたしました。

私も中学生の時、学校の文化祭で主張大会があり、「なぜ勉強するのか」という自分で考えた問題と真剣に向き合い、クラス代表としてたくさんの生徒に向けて発表したことを皆さんの姿を通して鮮明に思い出しました。もう三十年も前のことになりますが、「なぜ、わたしたちは勉強しなければならないのでしょうか？」と問い掛けた思いは、その後の私の生き方に確実に影響しています。一つ一つの仕事や一人一人の人との出会いには必ず意味があり、大切にしたいと思う自分が今いるのは、中学生での主張大会の経験が私の根底にあるからです。

地区大会に向けて、そしてこの県大会に向けて、自分自身の主張と向き合い続けてきた皆さんにとっても、今回の経験は、これからの人生の貴重な財産となり、必ずや自分を高めていく宝物になると思います。

さて、これから皆さんが生きていく十年後の社会は、Society5.0の社会だと言われています。AIと人間が共存し、より豊かに生きていく社会になるということです。例えば、言葉の違う国の人同士が同時に会話をしたり、体の不自由な人が自動運転の自動車で自由に行動したりすることが、AIの進化によって、十年後には当たり前になっているかもしれません。それほど、AIの進化は、社会に大きな変化をもたらすこととなります。

ただし、どんなにAIが進化しようとも、その技術を作り出しているのは人間です。わたしたち人間は、豊かに生きるために、一人一人が課題を見付け、その課題を解決するための方法を考え、粘り強く試行錯誤しながら取り組み、よりよい答えを導き出すことができます。このことは、まさに皆さんが今回の発表に向けて準備してきたこととプロセスは同じなのです。明日からの毎日の中で、今回のようなチャレンジ精神や好奇心を大切に、何事にも自分なりの考えをもって行動することを続けてください。

最後に、子供たちにこのような成長の場を与えていただいた関係者の皆様、また本日まで丁寧にご指導いただいた先生方、そしていつでもそばで見守り、支えてくれる保護者の皆様に感謝申し上げ、私の講評とさせていただきます。



★県大会に出場された皆さん

賞	中学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀賞	金沢市立長田中学校	3	松末 明生	「考えない葦」は、ただの葦
優秀賞	石川県立金沢錦丘中学校	3	東 真菜葉	誇りある自分になるために
	白山市立北星中学校	3	平村 晴佳	星のような言葉の中から
奨励賞	金沢大学附属中学校	3	川口 琳可	学ぶ意味
	内灘町立内灘中学校	3	石本 千陽	多様性を受け入れる
	小松市立芦城中学校	2	若林 明依	私にしかできないこと
	加賀市立錦城中学校	3	宮崎 碧	感謝
	金沢市立紫錦台中学校	3	山本 莉音	自分らしく老いるために
	輪島市立東陽中学校	3	登岸 結衣	武器をメガホンに
	七尾市立七尾東部中学校	3	達 萌々菜	友達と仲良くするために
	加賀市立東和中学校	3	沖山 絹布子	海への礼儀
	白山市立北辰中学校	3	細川 咲	ジブンニハクシュ！
	小松市立御幸中学校	3	橋爪 にこ	「私」という性別
	白山市立北辰中学校	3	江川 遼	積極思考で人生を豊かに
	七尾市立七尾東部中学校	3	川下 真央	個性を生かすには
	七尾市立能登香島中学校	3	出崎 絢菜	才能に勝つ



◇第50回太陽と緑に親しむ健民祭

○健民祭総合開会式

9月23日（土・祝）9時から西部緑地公園陸上競技場を会場に馳浩本部長出席のもと、700名が参加して総合開会式を開催しました。

開会式では、関戸正彦健民祭実行委員長の開会宣言、馳浩本部長の挨拶、オーロラビジョンによる各団体の紹介、県ゲートボール協会代表の安島義明さんによる参加者代表挨拶、県レクリエーション協会の利岡理香さんのご指導による健民さわやか体操、県リズムダンス協会による『石川県民の歌』ダンス披露と予定どおりに開催されました。



関戸委員長開会宣言



馳本部長挨拶



参加者のみなさん



健民さわやか体操



参加者代表挨拶



ダンス披露



準備運動をする参加者のみなさん

○健民ゲートボール大会（主管 石川県ゲートボール協会）

総合開会式後、10時20分から陸上競技場の特設コートで、118名が参加されて競技が行われました。

1コート 優勝 かほく（かほく市）
2コート 優勝 能登（能登町）
3コート 優勝 中奥チーム（白山市）
4コート 優勝 志賀（志賀町）

準優勝 中ノ江（能美市）
準優勝 日和ヶ丘（七尾市）
準優勝 金沢クラブ（金沢市）
準優勝 白山松鶴（白山市）



○リズムダンス講習会（主管 石川県リズムダンス協会）

総合開会式後、10時から陸上競技場で講習会が行われ、150名が参加されました。





○健民グラウンド・ゴルフ大会（主管 石川県グラウンド・ゴルフ協会）

総合開会式後、10時00分から陸上競技場補助競技場で、384名が参加され、開会式、馳本部長（知事）の始球式が行われ競技開始となりました。



開会式・馳本部長（知事）あいさつ



始球式（上）と競技の様子（下）



健民グラウンド・ゴルフ大会 競技結果

<男性の部：赤旗グループ>

- 優勝 田中 賢一（金沢市）
- 2位 坂井 尚之（金沢市）
- 3位 国長 広人（金沢市）
- 4位 笠谷 博（かほく市）
- 5位 中村 信隆（金沢市）
- 6位 新谷 武俊（金沢市）

<男性の部：青旗グループ>

- 優勝 金谷 敏夫（かほく市）
- 2位 川森 憲二（白山市）
- 3位 庄源 一（三和GC）
- 4位 村田 一夫（白山市）
- 5位 小酒 邦雄（加賀市）
- 6位 東 進（金沢市）

<女性の部：赤旗グループ>

- 優勝 藪下 加代子（能登町）
- 2位 櫻吉 美智恵（かほく市）
- 3位 高桑 文子（白山市）
- 4位 向 レイ子（志賀町）
- 5位 岩本 康子（金沢市）
- 6位 高瀬 梓（金沢市）

<女性の部：青旗グループ>

- 優勝 木下 陽子（志賀町）
- 2位 塚本 洋子（かほく市）
- 3位 筆安 百合子（金沢市）
- 4位 梶 未枝子（志賀町）
- 5位 池島 美紀子（中能登町）
- 6位 板倉 ヒデ子（志賀町）

○健民ペタンク大会（主管 石川県ペタンク・ブール協会）

総合開会式後、10時20分から西部緑地公園投てき場で競技が行われました。

21チーム72名のみなさんが参加されました。

優勝 能美1 2位 志賀町3 3位 津幡4、白山3



競技中の様子



○石川県スポーツ少年団サッカー交流大会（主管 石川県スポーツ少年団）

8月26日（土）、27（日）、9月3日（日）内灘町サッカー競技場・他を会場に16チームが参加して開催されました。9月3日（日）には決勝戦、三位決定戦が行われました。

- 優勝 額サッカースポーツ少年団
- 準優勝 野町サッカースポーツ少年団
- 第三位 符津スポーツ少年団サッカー部
- 第四位（敢闘賞）金沢城北F・C



○マラソンに挑戦する会2022（主管 石川県走ろう会連絡協議会）

9月18日（月・祝）西部緑地公園陸上競技場を会場に185名が参加し、10km・20km・30kmの3種目で開催されました。



受付



マラソンに挑戦する会横断幕



開会式前の和太鼓演奏



開会式



スタート直前



第4ゲートから競技場外へ

〇わんぱく広場（主管 （一財）石川県レクリエーション協会）

9月24日（日）いしかわ子ども交流センターおよびセンター前の緑地広場を会場に108名の参加者がさまざまなプログラムを体験し、好評のうちに終了しました。



受付



カラオケ



マンカラ



モルック



ディスクゲッター



ひろばの様子

○健民マレットゴルフ大会（主管 石川県マレットゴルフ協会）

9月24日（日）専光寺ふれあいの森ふれあいゴルフ広場で75名が参加して開催されました。



○健民野球大会（主管 石川県早朝野球協議会・金沢日曜野球連盟）

10月1日（日）石川県立野球場で開催されました。

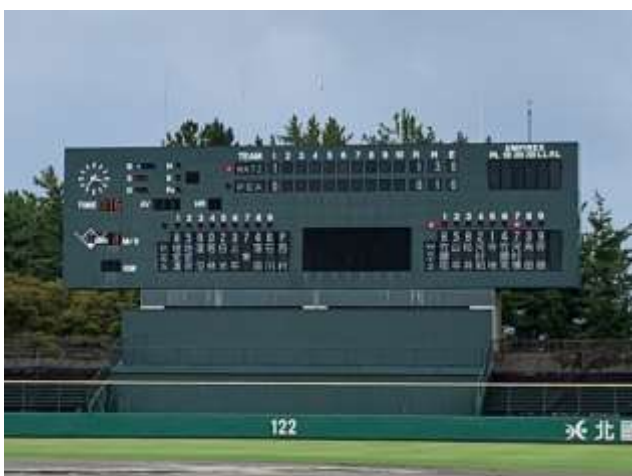
○県早朝野球 決勝 高桑美術印刷 VS ハンブラザーズ
高桑美術印刷が優勝しました。

○金沢日曜野球 準決勝 第2試合目の試合途中で降雨中止になりました。

早朝野球大会の様子



日曜野球大会の様子



○おはようサイクリング石川健民大会

(主管 おはようサイクリング石川県協議会)

10月9日(日)大豆田大橋上流広場を集合場所に52名が参加して片道または往復約28キロのコースを走りました。



○健民歩こう大会【健民祭ウォーク】(主管 石川県歩こう会連絡協議会)

10月15日(日)いしかわ四高記念公園(金沢市)を会場に石川県歩こう会連絡協議会のメンバーを中心に50名が参加して開催されました。



○健康クラブ交歓大会（主管 石川県健康クラブ協議会）

10月19日（木）いしかわ総合スポーツセンターを会場に、093名が参加して開催されました。来賓として馳浩本部長が参加し励ましの言葉をいただきました。



受 付

西村香代子 会長挨拶



馳 浩 本部長 励ましの言葉

山口局長 歓迎の言葉



功労者表彰

喜田羊支子 代表謝辞



◇ 11月・12月の健民運動カレンダー

R5.10.18現在

11/2 (木)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：中能登町食生活改善推進協議会 会場：鹿島郡中能登町 主催：石川県健民運動推進本部
11/2 (木)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：羽咋健康クラブ 会場：羽咋体育館 主催：石川県健民運動推進本部
11/5 (日)	第39回 全国選抜ゲートボール大会 石川県大会 団体名：石川県ゲートボール協会 会場：中能登町ふれあいセンター 後援：石川県健民運動推進本部
11/6 (月)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：JA能美辰口支店女性部 会場：JA能美辰口支店 主催：石川県健民運動推進本部
11/7 (火)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：サンレディース 会場：白山市立松任公民館体育館 主催：石川県健民運動推進本部
11/9 (木)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：内川健康推進連絡会 会場：内川公民館 主催：石川県健民運動推進本部
11/10 (金)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：千代野健康クラブ 会場：千代野体育館 主催：石川県健民運動推進本部
11/11 (土)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：金沢市四十万小学校育友会 会場：金沢市四十万 主催：石川県健民運動推進本部
11/15 (水)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：椿健康クラブ 会場：野々市市スポーツセンター 主催：石川県健民運動推進本部
11/16 (木)	令和5年度青少年ボランティア賞表彰式 会場：県庁行政庁舎 特別会議室 主催：石川県健民運動推進本部
11/17 (金)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：津幡町条南公民館 会場：津幡町条南公民館 主催：石川県健民運動推進本部
11/19 (日)	令和5年度健民運動ふるさとづくり表彰式 第59回花いっぱいコンクール表彰式 会場：県庁19階展望ロビー 主催：石川県健民運動推進本部
11/24 (金)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：七尾市立田鶴浜小学校 会場：田鶴浜小学校体育館 主催：石川県健民運動推進本部
12/7 (木)	令和5年度健康わくわく出前講座 団体名：粟崎公民館女性部 奴学級 会場：粟崎文化センター 主催：石川県健民運動推進本部

～ 石川県産木材利用拡大の取組 ～



石川県森林組合連合会では、一昨年から石川県漁業協同組合（JF いしかわ）様のご協力を得て、同組合様とFMいしかわ様が共同で開催されております、『JF いしかわプレゼンツ HELLO FIVE おさかな料理教室』に石川県の県木である「アテ」の“まな板”と石川県産スギの間伐材を使用した“割箸”をご使用いただいております。

「アテ」は、能登地方を中心に植えられており、伐採され木材として私たちの手元に届くときには「能登ヒバ」と呼ばれます。「能登ヒバ（アテ）」はヒノキチオールという天然成分を多く含んでおり、強力な殺菌・抗菌作用を持つことがわかっています。湿気に強く、腐りにくいという性質があり、輪島塗の林地等として古くから使われています。このほか、独特の爽やかな香りや虫を寄せ付けにくいことから、アロマオイル、スプレー、文房具等の材料にも使用されています。



一方の県産スギ間伐材を使用した割箸は漂白、防腐などの薬剤を一切使用しておらず、安全・安心な製品となっています。

本料理教室を通じ、広く県民の皆様には石川県産の鮮魚の旨さとお合わせ、県産材木製品の良さを体感（見て、触れて、感じて）していただいているところです。参加者の方々からは、まな板、割箸について、“木材の肌触りがいい”、“香りがいい”などの高評価を頂戴し、後日まな板をご購入いただいた方もいらっしゃるなど、林業関係者の大きな励みとなっています。

石川県は森林面積が県土全体の約70%を占める、みどり豊かな森林県です。木は家や街づくりの材料になるだけでなく、水や空気を浄化し、様々な災害から私たちを守っています。伐った木を有効に使うということは、森林の手入れに結びつくほか、各種産業に活力を与え、地域経済の活性化にも繋がっていきます。

石川県の木を石川県で使うこと（地産地消）は、たくさんの森林の恵みを受け取ることとなります。

引き続き、農林水産団体をはじめとする関係機関と連携し、石川県産品の利用、地産地消の拡大に注力して参りたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

なお、県産木材を使用した“まな板”・“割箸”のほか木製玩具など、多数の木製品を取扱っておりますので、是非機会がございましたらご利用いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

『あいむ』だより



収集物（7・8月分）＜使用済み切手など＞

石川県（行政情報サービスセンター、統計情報室、障害保健福祉課、資源循環推進課、水産課）、匿名の方

合計 6件 ご協力ありがとうございました！



ご提供いただきました使用済み切手、書き損じハガキにつきましては、切手収集家等に換金してもらい、海外への医療従事者派遣や視覚障害をもつ学生の育英事業などに役立てていただいております。ぜひお寄せください。

メールマガジン『あいむ通信』を読んでみませんか？

あいむでは、定期的にメールマガジン『あいむ通信』を配信しています。内容は、イベントやボランティアの募集情報、助成金、顕彰の情報など、皆さんの活動に役立つ情報です！配信を希望される方は、団体名または氏名、『あいむ通信』配信希望の旨を記載いただき、magazine@ishikawa-npo.jp までメールを送信ください！



これまでに配信したメールマガジンも見ることができます！
<https://www.ishikawa-npo.jp/oshirase/magazine.html>



あいむの『会議室』をご利用ください！

- ◎利用可能人数 / 20名程度
- ◎予約は利用日の3カ月前より受け付けます

ご利用は無料です

プロジェクター・スクリーン・テレビ・Wi-Fi
ホワイトボード・DVD・BDプレイヤー・マイクセット等も
揃えています

◎ご利用の際は『会議室利用申込書』を提出ください！



石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階

TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559

<https://www.ishikawa-npo.jp> , E-mail:npo@ishikawa-npo.jp

会議・打合せ等に『あいむ』をご利用ください！（会議室使用料無料）

・お問合せ、ご予約はお電話等にてお気軽にどうぞ。

《9:00～22:00（土、日は17時まで、月曜日・祝日・年末年始は休館）》

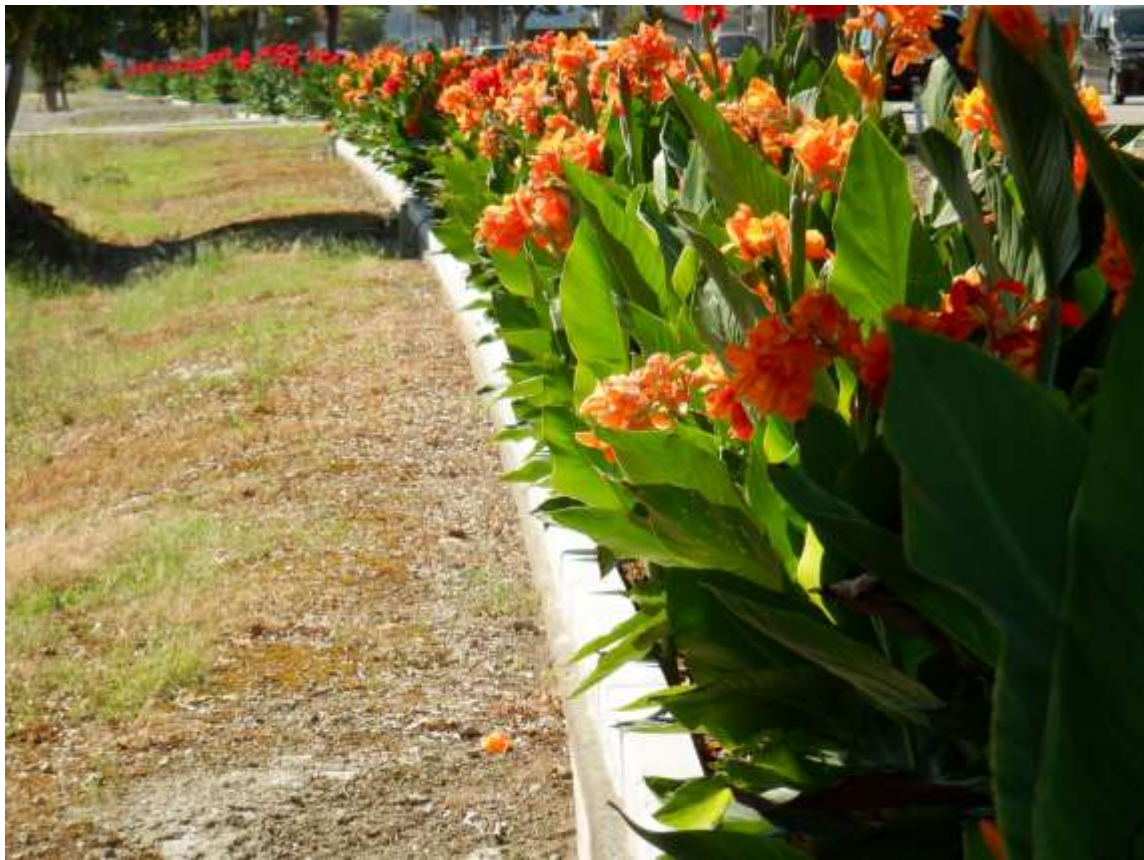
・香林坊地下駐車場をご利用の場合は駐車料金の一部を助成しています。



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～



毎月7日は「健康の日」です。
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～



発行：石川県健民運動推進本部

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
石川県女性活躍・県民協働課内 健民運動推進本部

TEL 076-225-1366
FAX 076-225-1374

ホームページ

健民運動

検索

E-mail kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp



QRコード